

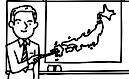


学年・教科	第2学年	社会	担当者 飯田 太郎
学習目標 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。			
指導計画		学習内容	
【歴史的分野】 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 2節 江戸幕府の成立と対外の変化 3節 産業の発達と幕府政治の推移	 1 学 期	○織田・豊臣および江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解する。○ヨーロッパ文化の伝来や日本人の渡航などの対外関係が活発な時期から、外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解する。○安定した社会が次第に変化し、行き詰まっていく原因について、社会のしくみや経済の変化などから考える。○産業や交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を、今日に残る文化財や史料などからとらえる。	
第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展 2節 欧米の進出と日本の開国 3節 明治維新	 2 学 期	○欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。○明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解する。○立憲制国家が成立し、日本の国際的地位が向上したことを理解する。○日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。	
【地理的分野】 第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の手法 第2章 日本の地域的特色	 3 学 期	○縮尺の大きな地図や写真などを活用し、土地利用、地形などを読み取り、身近な地域で見られる様々な地理的事象に気付く。○地域調査の方法、地理的なまとめ方や発表の方法を身に付ける。○世界的視野から見た日本の地域的特色や、日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色を「自然環境」、「人口」、「資源・エネルギーと産業」、「地域間の結び付き」の四つの観点からとらえる活動を通して、日本の国土の特色をとらえる。	
第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 2節 中国・四国地方 3節 近畿地方 4節 中部地方 5節 関東地方 6節 東北地方 7節 北海道地方 第4章 持続可能な地域の在り方	3 学 期	○日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気付く。○地域的特色ある事象を、他の事象と関連付けて考察することを通して、地理的な見方や考え方を身に付ける。○地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を身に付ける。	
観点別評価の観点と主な方法について ○ 知識・技能 （我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめようとしている。）→テスト、ワーク、資料の活用など。 ○ 思考・判断・表現 （社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したり、それらを基に議論したりしている。）→ノート、テスト、レポート、授業中の活動(発表)など。 ○ 主体的に学習に取り組む態度 （社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。）→ノート、ワーク、授業中の活動(発表)など。			
学習のアドバイス <テスト前の勉強の取り組み方> ① 教科書は最低2回読む……1回目は、ノートなどを見て重要な個所にマーカーを引きながら！ ② ワークに取り組む&やり込む……分からなかった所を中心に教科書を読んで確認(2回目)！ ③ 書くことを大切にして勉強する……書くことで理解を深めよう。人名や用語は漢字で書こう！			
使用教材 教科書、地図帳、資料集(歴史、地理)、ワーク(歴史、地理)			